



みつぎっ子

学校教育目標

「やさしく かしこく たくましく」

〒400-0048 山梨県甲府市貢川本町8-1 TEL (055) 222-2408 FAX (055) 222-2407 文責：校長 伊東

みんなが見守ってくれている

2学期の始業式があった8月27日(金)は、時間差登校だったため、Bグループの登校時には、いつもの旗振り当番の保護者がいないという状況がありました。地域の見守り隊の方々へ、この状況をお伝えできたのは前日でしたが、急な連絡であったにもかかわらず、Bグループの登校時にも見守りをしてくださいました。

右の写真ですが、見てお分かりの通り、白バイ隊員も子どもたちの見守りに来てくれました。この写真には写っていませんが、徳行交番のおまわりさんも来てくれました。

感染者数が爆発的に増加し、まだまだ先が見えないこのコロナ禍において、それでも笑顔で頑張っている貢川小の子どもたちを、こうして地域の皆様が支えてくださっていることに、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



従来通りの健康チェックと新たな感染症対策

これまで通り、学校の感染症対策は、児童登校時の健康チェックから始まります。

- ①体調はどうか？
 - ②熱を測ってきましたか？
 - ③家族の体調はどうか？
 - ④チェックカードを見せて下さい。
- 担当する職員は児童の顔を直接見ながら聞き取りを行い、健康チェックカードをチェックします。チェックを受けた子どもたちは、アルコールで手指消毒を行ってから校舎内に入ります。始業式の様子を見てみると、健康チェックカードを忘れてしまったり、カードは持ってきていても検温結果等が記載されていなかったりと、20名近い子どもたちが玄関前で検温と健康チェックを受けていました。そう言えば、最近利用した市役所のエレベーター前に、モニターの正面にたつと自動で検温をしてくれる機械がありました。学校には外部の方も来校されたり、何よりも、常に子どもたちの健康管理(検温)ができるので、こういう設備が学校があればいいな、と思いました。



右側の写真ですが、夏休み中、技能員の窪田さんに手伝ってもらい、校舎内の水道の蛇口を、全てシングルレバーに交換しました。手洗い時の感染を防ぐために有効とのこと。蛇口の開閉をワンタッチで、しかも手の甲を使えばできるので、感染対策になるのだそうです。もちろん、子どもたちが帰った後、このレバーも職員が手分けをしてアルコール消毒をしています。

学校の中で、一番密になるのは、やはり職員室です。貢川小の職員室は決して広くはないことから、ここからクラスターを発生させない対策を強化しなければなりません。ということで、先生方の机の前と左右に設置するために、飛沫対策用としてパーテーションを発注しました。今週中には納品されるとは思いますが、これからも可能な範囲で、できる限りの感染症対策を講じていきたいと考えています。

学校の中で、一番密になるのは、やはり職員室です。貢川小の職員室は決して広くはないことから、ここからクラスターを発生させない対策を強化しなければなりません。ということで、先生方の机の前と左右に設置するために、飛沫対策用としてパーテーションを発注しました。今週中には納品されるとは思いますが、これからも可能な範囲で、できる限りの感染症対策を講じていきたいと考えています。

バックネット転倒防止(補強工事)



校庭北西に設置されているバックネットの転倒防止のための補強工事が、この夏休み中に行われました。調べたところ、学校の備品ではなく、しかも、いつ設置された物なのか詳細が分かりませんでした。しかし、転倒して子どもたちが怪我をしてはいけませんので、教頭先生にお願いして、各方面に対応を依頼し、この度、補強のための支柱を2本設置していただきました。

当日は、雨の中の作業でしたが、これで転倒の危険性はなくなりました。とは言っても、引き続き、ネットには登らないよう、子どもたちには指導を行っていきます。

「あんしんメールの開封確認」についてのお願い

今回の分散登校に係わる情報提供ですが、始業式の直前であったため、全校の保護者があんしんメールを確認(開封)できているか心配でした。この「あんしんメール」システムには、配信先の保護者がメールの内容を確認(開封)したか、学校側でチェックする機能があるのですが、もし、今回のように緊急配信の場合、開封の確認ができない保護者には、直接電話を掛けて確認(伝達)をしなければなりません。この開封確認ですが、アプリで利用している方については、開封さえしていただければ、何も操作をしなくても学校側が開封の有無を確認することができます。しかし、メールで利用している方については、開封して内容を確認しただけでは、学校側は開封の有無を確認することはできません。メールの本文後半にある、『このメールを確認した方は以下のURLをクリックしてください。』と表示されている下のURLを押していただかなければならないのです。実際、今回も開封確認が取れない保護者には、担任が直接電話連絡をさせていただきました。

状況によっては、学校以外の場所から配信をする場合もあります。その場合、保護者の開封確認は、配信した場所(学校以外)で行うことはできますが、未開封の保護者への電話連絡については、児童名簿を学校から持ち出せないルールになっているため、担任が学校に来なければなりません。緊急を要するような状況下では、タイムロスにつながってしまうどころか、大きな混乱を招いてしまう可能性もありますので、ぜひ、この【開封確認】の件については、ご面倒をおかけいたしますが、ご理解とご協力をいただけますよう、よろしくお願ひいたします。

教室訪問

◆1年生のあるクラス

「ききたいな ともだちの はなし」という国語の授業でした。夏休み中の宿題だったので、それぞれが「絵日記」の紹介をするところでした。今年の夏もコロナ禍により、移動も制限されていたので、どのご家庭も夏休みの思い出づくりに工夫をされていたことと思います。

私が見させてもらった絵日記には、家族で魚釣りをして、焼いて美味しく食べた様子が、上手に描かれていました。終わってしまえば、子どもたちにとっては、あっという間だったかもしれない夏休み。でも、皆、昨日のことのように友だちに伝えていました。

◆2年生のあるクラス

運動会で披露する、表現運動の振り付け練習をしていました。換気されたエアコンの入った涼しい教室で、しかも分散登校なので踊る子どもたちもまばらで、密は十分避けられていました。BGMは掛かっていましたが、授業中なので、最小の設定のようでしたが、担任の先生の見本をみながら、楽しそうに踊っていました。もちろん、みんなマスクを付けていました。

今年も、先生たちの『表現運動だけはカットしたくない。』という熱い気持ちもあり、1ヶ月先のことは分かりませんが、現段階では、どの学年も準備を進めています。